

議会だより

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒 894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



嘉徳海岸

西 香穂美さん (49)

この春、古仁屋中学校に赴任した。

名瀬に生まれ、空手道の指導者でもあった父から、中・高校生時代には厳しくきたえられた。

その後県立短大に進んで、いまだ将来への目標が定まらないまま教育実習を受けてみて、教育という仕事にめざめるようになった。

新採用で旧指宿地区の中学校、そして鹿児島市内での勤務と続き、その後奄美大島に帰ってから4校目の勤務地として、古仁屋にやってきた。

いきいきした中学生と接していて、自分自身も日々を新たに生きていることのできるしあわせを感じている。

コロナ騒ぎで、まだ瀬戸内町内のどこにも行けてないが、古仁屋の街が思ったよりもギュッと凝縮ぎようしゆくされていて、元気があふれていることにおどろいている。

こんなことを決めました!

第2回定例会

6月9日~11日

第2回（6月）定例会では、補正予算議案7件、契約議案1件、条例議案6件、同意議案10件、その他8件の計32件の議案を審議し、それぞれ可決しました。

主な議案の要旨は次のとおりです。

補正予算

一般会計補正予算 (第3号)

●歳出について
特定離島ふるさとおこし推進事業費として、農林水産業費、商工費、土木費及び教育費に総額1億7460万7千円を追加したこと。総務費の事業継続緊急支援金事業費に4782万円を追加した議案を原案可決しました。

●歳入について
特定離島ふるさとおこし推進事業費補助金として県支出金に1億3010万8千円を追加したこと。
繰入金金の財政調整基金繰入金に1億4473万円を追加した議案

を原案可決しました。

契約

●令和2年度加計呂麻港（依地区）改修工事請負契約の締結について

本事業は、令和2年5月28日、丸福建設(株)、(株)勇建設、(株)伊東組、(株)泰江組、奄美興発(株)、(株)里山興業、(株)藤田建設の7社による指名競争入札の結果、(株)勇建設が1億2417万8472円で落札し、5月29日付けで仮契約した契約議案について審議し、可決しました。

農業委員の任命

●現在の農業委員会の委員の任期が令和2年

7月19日をもって満了を迎えるため、新たに「元克美」、「岡野正郎」、「永井利一」、「川島博」、「碩悟」、「森山和雄」、「森正三郎」、「数原菊美」、「堯文俊」、「田中勝弘」の10氏を農業

委員会の委員として任命する議案について審議し、同意しました。

第2期瀬戸内町 こども・子育て 支援事業計画

●本町におけるこども・子育て施策について、妊娠期・乳幼児期から18歳に至るまでの切れ目ない支援施策を総合的かつ計画的に推進するために策定した「第2期瀬戸内町子ども・子育て支援事業計画」について、審議し原案可決しました。

路線認定

●町道安脚場戦跡公園線は、安脚場集落から安脚場戦跡公園を結ぶ唯一の道路であり、道路台帳整備が完了したことから、町道として認定する議案を審議し、可決しました。

大島農業共済 事務組合

●県下全域を対象とした、鹿児島県農業共済組合を設立することに伴う、大島農業共済事務組合の解散に関し、関係市町村と協議する必要があるため、規約の変更、財産処分に関する協議についての議案を審議し原案可決しました。

総務経済常任委員会所管事務調査活動

瀬戸内町議会には総務経済常任委員会，文教厚生常任委員会の二つの常任委員会が設置されています。

構成は下記の通りです。

総務経済常任委員会	文教厚生常任委員会
池田 啓一 委員長	元井 直志 委員長
柳谷 昌臣 副委員長	澤 佳男 副委員長
榊 藤光 議員	渡島 芳臣 議員
中村 義隆 議員	向野 忍 議員
岡田 弘通 議員	安 和弘 議員

今回は、総務経済常任委員会が行っている「水産振興に関する調査」活動を報告します。

瀬戸内漁協では、大島支庁が推進するシラヒゲウニ等増殖推進事業を活用してウニの養殖の実証実験を行っています。

(令和2年5月21日 瀬戸内漁業協同組合で視察研修)



説明を受ける委員



養殖しているシラヒゲウニ

(令和2年6月24日 龍郷町で視察研修)



現場で説明を受ける委員



カメ等の食害から藻場ブロックを保護する網

龍郷町に残っているホンダワラを親藻^{おやも}とした藻場再生^{もば}を目指し、特殊な灰を配合した藻場ブロックを使用して繁殖を行っています。

現在は、藻場ブロック以外の自然石からも藻が生育してきている状況です。

一般質問

柳谷 昌臣 議員



新型コロナウイルス対策

柳谷 第二弾、第三弾の町独自の支援についての考えを伺いたい。

町長 町独自の経済対策等については、町内各種店舗でクーポン券を利用した「瀬戸内町“ささえ愛”クーポン」事業を行

いたい。これは、町民1人に付き、5千円分のクーポン（500円×10枚の1セット）を、各世帯に世帯全員分を発行するものである。

“町内各種店舗”については、募集をかけ、なるべく町内のたくさんの店舗で使えるよう働きかけたいと思っている。これにより「町内の消費拡大」を後押しする。

その他の支援策についても、ただいま事業申請を数件、検討・協議している。認められ次第、順次対応していきたいと思っている。

“県をまたぐ可能性のある観光振興事業”については、終息見込みが立た

ないため、国が示した「外出自粛の段階的目標」を基本としながら、タイミングをみて判断していきたいと思っている。

「イベント開催制限の段階的緩和の目安」・「外出自粛の段階的緩和の目安」等を基本としながらではあるが、各種団体と共同でのイベント開催

柳谷 7月のシーカヤック大会、8月のみなと祭りが中止と決定になったが、全国的に落ち着いた場合に何らかの代替イベント等の開催の考えはないのか伺いたい。

町長 現在、新型コロナウイルス感染症の終息する見込みがいまだ立っていない中、時期的なことが予測できないが、政府からの



を目指して協議等行いたいと思つている。
町民の皆様にも少しでも明るい話題を届けることができるように、各種団体等と協議・連携を図りたいと考えている。

柳谷 町内の小中学校の休校に伴う学力低下・授業遅れ等が懸念されるが、その対策について伺いたい。

教育長 現在、臨時休校で生じた未指導事項については、各学校の実態に応じて、対応しているが、時間割編成の工夫や学校行事の精選等に対応しており、年度当初に予定していた内容（各教科時数）の指導を終える見込みである。
なお、家庭学習の充実

やWeb問題の提供、見届けを行い、定着が不十分な場合は、個別補習等

を実施し、学習保障、支援に努めている。

安和弘議員



施設の整備

できた人々は、この場所にあった上屋とは50年間、半世紀苦楽を共にしてきた永い歴史があり、港の仕事をしていく上で、どうしてもなくてはならないものである。この港は農協・養殖業者・建設業者の方々とも深い関わりを持つ、我が町の貨物港の玄関口である。何とかこの上屋の復活はできないものか。

安 解体された船津地先の古仁屋港、上屋跡地で業者がおびただしい数のコンテナの中で作業をしている。この港に関わつ

町長 瀬戸内町、上屋特別会計においては、古仁屋港第一上屋の取り壊し分の起債償還の完済、大

湊上屋建設分の起債償還の完済、それぞれの償還完済後の新たな建設が健全化にそつた対応となる。また、町全体で考えると「その他大型プロジ

エクト」の計画が準備されていることから、当分の間は建設は厳しいと思われる。国、県、漁港関係の交付金や補助等を模索していきたいと考えて



接岸中のフェリーかけろま

いる。

安 フェリー「かけろま」の、現在の古仁屋側

発着場は、港の出入口が静穏度保持の為、せまくなっている。潮流風の影響を受けて、接岸に苦労している。欠航便縮少のためにも、この船津の岸壁への変更は考えられないか。役場、へき地診療所、徳洲会病院、清水運動公園に近い利便性もある。

判断をしている。

緊急支援事業

安 町は、5月1日の臨時議会において、新型コロナ対策として、町独自の支援事業を郡内でいち早く予算計上した。誠に迅速な取り組みであったと敬意を表する。市街地のほとんどの飲食店業者が、4月の半ば頃から営業自粛の状態だった。5月1日から支援の申請受け付けが商工会でなされたということ、小規模の業者が多い地元の経営者は、ホッとしたものだ。と同時に、「商工会員でなければ難しいらしい」とか「確定申告してなければダメらしい」という噂が流れ、年配の人

の中で申請するのに「二の足を踏む」人が多いということだった。そこで、お尋ねするが、現在の申請者は何名か。

町長 一律10万円の町単独の支援金で、対象者は、町内で仕事をしている商工業者、観光業者で、商工会員、又商工会員でなくても申請できる。申請者は、6月1日時点で、商工会会員121件、会員以外の方が78件となっている。

安 申請する時の書類が、申請書の外に、3月、4月の売り上げが確認できる試算表、売上台帳、確定申告書、決算報告書の写し、納税証明書、身分証明書などなど、となっている。申し上げてき

た通り、飲食店業者の中に70代になっている人、又それに手の届くような方が、大勢おられる。営業許可証と「確かに営業していた」という2、3

町長 当初、売り上げ高、前年度比30%減であったものを15%まで引き下げ、大幅に緩和している。

安 せっかくの町の3000万円の支援金。対象者全員に、一人残らず給付されるよう願っている。

渡島 芳臣 議員

新型コロナウイルス



渡島 鹿児島県内では感染者ゼロの日数が長く続いて緊急事態宣言が解除されたが、第2波が来ると予想される。県外からの人の往来が自由になる

町長 平成29年1月に、現在の「フェリーかけろま」で船津岸壁に接岸可能か、どうか、接岸トライアルを実施した。その時の評価は、風潮流が強いのと岸壁の高さがランブドア使用の高さと合わないので無理であるとの



イノシシに掘り返された畑

と、感染者が出ると想定される。水際で食い止める必要があると考えるがこの対策を伺いたい。

町長 離島の空港に加え鹿児島港においてもサーモグラフィーを設置している。本町ではフェリー

かけるま、せとなみへの乗船客に対して手の消毒と靴底の消毒を行っている。又フェリーあまみ・さかいの下船客に非接触型体温計で検温を行っているが、今後に於いても、水際対策を行っていききたい。

渡島 国の特別定額給付金の申請に関し、一人10万円の申請書は何件届いているのか、申請締め切りは何時までか、申請できない家庭にはどのような支援を行うのか伺いたい。

町長 業種別に、飲食業が73件、宿泊業が33件、サービス業が32件、卸小売業が28件、製造業が21件、運送業が12件、申請があり、支給要件を満たした方にはすべて支給されている。

高が前年同月比で50%以上減少、3カ月の売上高が前年同月比で30%以上減少と、このいずれかに該当する者に給付されるとしている。事業内容が経済産業省から発表されたら、町HP等で周知したいと思っている。

農家支援

町長 給付対象世帯中、4,830世帯(91・46%)申請締め切りは8月15日である。申請できない方には集落に出向く等して申請漏れ等に対応していく。

渡島 国は飲食店の休業等により生じた損失分を補てんするための新たな補助金を創設するとし、事業者の家賃負担を軽減する為の新たな支援制度を具体化するとの事だが、これらの支援策の業種別内容、何時頃支給出来る見込か伺いたい。

渡島 今年はイノシシ被害が多く報告されている。奨励作物以外の品目にも防護柵設置は出来ないのか、捕獲箱等は設置出来ないのかイノシシ被害を食い止める、最良の方法をお尋ねする。

渡島 商工業者向けに、町独自の支援金給付を実施したが業種別に何業者の申請があったのか、困っている申請者にはすべて支給出来る見込みなのか伺いたい。

町長 給付対象者としては、中堅企業、中小企業、小規模事業者、個人事業者等であり、5月〜12月において、1カ月の売上

町長 近年の被害状況を考慮すると、他品目にも検討して行く必要性を感じる。

じている。捕獲箱は農業者や有害捕獲従事者に貸出しを計画している。

題になつてい。隣接する側溝と併せて整備出来ないか伺いたい。

渡島 清水公園グラウンドゴルフ場上部は荒れ放

教育長 側溝も含め改修する計画になつてい。

中村 義隆 議員



漁協組合、農業組合等には支援が出来ないか伺いたい。

町長 「瀬戸内町飲食・観光事業等緊急支援事業」については商工会員のみへの支給ではなく、非商工会員も支給の対象となつており、支給済額の約40%が非商工会員である。また、第1次的に影響を受けたこの飲食業等の負の連鎖が他の業種に波及していることも認

新型コロナウイルス

中村 緊急支援対策は商工会にはあつたが、他の

識している。その対策として本町の全町民対象に支給する約4千5百万円の「ささえ愛クーポン券」を6月議会において補正予算計上している。

漁業、農業組合その他の業種の方々におかれては、このクーポン券の利便と併せて、特別定額給付金、また、無担保、無利子の緊急小口融資制度等多くの国県の支援制度も活用し、この厳しい状況を乗り越えていただきたい。

中村 国民1人に10万円を配る「特別定額給付金」の存在すら知らない、申請書の書き方も知らない高齢者への対応を伺いたい。

町長 国民1人に10万円



古仁屋高校女子寮（清雲寮）

を配る「特別定額給付金」については、国・県・市町村ともに広報に努め、また新聞、テレビ等のマスコミも大きく取り上げて頂いているが、申請漏れ等の恐れもあるので、老人ホーム等の施設管理者及び嘱託員等への協力依頼により対応しているところである。「特別定額給付金」は新型コロナウイルス感染症予防の観点からも原則郵送での申請をお願いしているところであるが、今後

の申請状況等を勘案した上で、集落に直接出向くことも視野に入れ、申請漏れ等へ対応していきたい。

教育行政

中村 古仁屋高校の寮は満杯状態だが、今後の受け皿拡充について伺いたい。

わせて募集していく予定である。

中村 古仁屋高校が離島の留学生のモデル校として、奄振交付金など活用した古仁屋高校の以前の寮跡地が今、さら地になっているが第2寮の建設など検討できないか伺いたい。

町長 古仁屋高校の寮は、令和2年5月末時点で空き部屋が男子寮3名、女子寮3名である。令和2年度の地域みらい留学フェスタでの募集人員は空部屋の数に合わせて男子3名、女子3名を募集する予定である。

町長 あの土地は高丘保育所の駐車場として利用されている。今後奄振交付金での寮の建設はできないし、今後において原則として寮の定員以上の拡充は考えていない。

町民生活

毎年度、男子、女子それぞれの空き部屋の数に合

中村 入学祝金は6月に支給されるようだが、入

学前の準備もあるが、どのような理由からなのか伺いたい。

町長 入学祝金の支給については、学校を通じ入學式の日に通知し、4月中の支給を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策での外出自粛要請や緊急事態宣言

も発令される中で、異動時期と重なっていることもあり、さらなる窓口の混雑による感染リスクを避けるために、支給時期を再三にわたり延期したことになるものである。来年度以降は、4月中に支給できるよう努めてまいりたい。

神 藤光 議員



行政運営

神 奄美大島総合戦略推進本部の事業目的、その内容について伺いたい。

町長 奄美大島5市町村が広域的に連携して地方創生に取り組むことを目

的として設置されたもので、事業内容はこれまでに、「奄美大島人口ビジョン」や「奄美大島総合戦略」の作製を行っている。

神 地方自治法に基づく広域連携として、政府が進める圏域形成の取り組みと「奄美大島総合戦略推進事業」がリンクするものではないかと思うが如何か。

町長 「奄美大島総合戦略推進事業」は、5市町村で任意に策定されたもので、近隣5市町村が広域で連携して総合戦略を策定する、国が進めようとしている先進的な事例と言われている。

神 国は基礎自治体の人



旧実久村役場跡（瀬武）

口を1万人規模を基準として
しているが、人口減少が
続く本町は将来、圏域合
併をせざるをえないと思
うが、如何か。

町長 本町は、奄美大島
人口ビジョンの推計に
よると、今から40年後

の2060年度には3,
614人となっている。
仮にその数字に近づいた
としても、行政のスリム
化と行政規模の調整を図
りながら、投資する施設

には集中的・重点的に投
資し、持続可能なまちづ
くりに取り組み、具体的

には、企業誘致、子育て
支援等で定住促進を図
り、人口の増加につなげ
ていきたい。
サービスの質の低下、
人口減を加速させる等の
懸念がある合併という選
択肢は、できる限りとら
ないようにすべきである
と考えている。

神 大島本島南部地域振
興協議会の目的、及び活
動内容について伺いた
い。

町長 当協議会は、瀬戸
内町、大和村、宇検村が
共同して関係町村の振興
開発の推進、及びその実
施の連絡調整を図ること
を目的とし、主な活動内
容については鹿児島県へ
の陳情、担当者レベルの
先進地視察等がある。

神 この南部地域振興協
議会で、「圏域」問題に
ついて話し合ったことは
ないのか伺いたい。

町長 話し合ったことは

ない。

神 今すぐとは言わな
いが、機会があったら雑談
にでも話し合っていただ
きたい。

て伺いたい。



元井 直志 議員

町長 本計画は、本町に
おける子ども・子育て施
策について、妊娠期・乳
幼児期から18歳に至るま
での子育て期間の切れ目
ない支援施策を、地域の
実情に応じ、総合的かつ
計画的に推進するために
策定するものである。

令和2年度から6年度
までの5年間を第2期と
して、幼児期の学校教育
・保育・地域の子育て支

**第2期瀬戸内町子ども
子育て支援事業計画とは？**

元井 計画の概要につい

援について、住民の利用希望を把握し、必要量を見込み、確保方策について記載している。

元井 町の教育力向上について伺いたい。

元井 少子化の対応について伺いたい。

教育長 学校、家庭、地域がそれぞれの役割・責任を自覚し、連携・協働し、子供たちを守る観点から、地域社会全体の教育力の向上を目指している。

町長 少子化への対応については、子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりに向け、今回策定した「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもや子育て家庭の置かれた状況や地域の実情を踏まえ、多様な子ども・子育て支援の「量的拡充」と「質的向上」を図るとともに、妊娠から出産・子育てに至る、切れ目のない支援の各種施策の充実に努めていきたい。

家庭の教育力の向上として、保護者に対する家庭教育の重要性や役割の啓発、学習機会や情報提供、学校・家庭・地域の連携などにより、様々な家庭の実態に応じた、きめ細かな家庭教育支援を行いたい。

や豊かな人間性、社会性等を育むことができる環境を整備したい。

学校の教育力の向上として、基礎的な知識・技能を確実に習得させるとともに、課題を解決させるために必要な思考力・判断力・表現力等を育み「確かな学力」を育成し、個に応じた指導や小・中学校の連携、情報教育、国際理解教育の充実を図りたい。

郷土館の充実

元井 学芸員の配置について伺いたい。

地域の教育力の向上として、地域の大人が子供たちの教育に関心をもち、参画するとともに、子供たちが遊びや様々な体験活動の中で、主体性

教育長 学芸員の配置については、現在、郷土館には「歴史・民俗」の専門知識を持った学芸員が

1名おり、郷土館の運営と文化財保護行政の仕事をしている。また、生涯学習係に2名、「埋蔵文化財」担当の学芸員が在籍している。



瀬戸内町立図書館・郷土館

元井 学芸員の役割について伺いたい。

等がある。

教育長 学芸員の役割については、学芸員とは、「博物館法」に基づく専門知識を持って、博物館等の運営業務にあたる専門員のことを言い、主に、研究や展示を通して、郷土の歴史・民俗の情報等を伝える仕事を担っている

次に人的配置だが、現在の郷土館は、学芸員1名、世界自然遺産との兼務1名、補助員1名の3名体制であるが、他の町村と比較しても妥当な人数かと思っている。

元井 郷土館の拡張について伺いたい

しかしながら、世界自然遺産業務も担っているので、今後の登録に向けた進捗状況次第ではあるが、郷土館事業の展開と文化財保護行政の双方が安定して遂行できる、「拡張」につなげていければと考えている。

教育長 郷土館の「拡張」については、「施設」「人的配置」の2つの問題があると考えている。

まず、施設面では建物の増改築による展示室等の拡張が考えられるが、建物の耐久性や財政問題

町長 「国道58号阿木

名・勝浦間」の道路整備については、平成27年度に阿木名校区（阿木名・勝浦・網野子）集落区長より陳情を受け、大島支庁瀬戸内事務所へ要望書の進達を行っている。鹿児島県から「当該区間について、トンネルなど多額の事業費を要することが予想されるものの、安心・安全な通行を確保する必要があることから、事業を行っている箇所を進捗状況を踏まえ、今後検討していきたい」と聞いている。

阿木名・勝浦間のトンネル化は？

元井 これまでの町が把握している経緯とこれからの方策について伺いたい。

「国道58号阿木名・勝浦間」については、これまでの台風接近時等による高波の越波や斜面崩壊による通行障害が頻繁に発生しており、道路利用者に多大な影響を及ぼして

いる状況であると認識しており、本町としても、当該区間は地域経済や町民の生活を支える重要な区間であり、トンネル化による道路利用者の安心安全の確保、アクセス改善による物流の安定化、さらには各種産業の振興

がはかれることから、早急に道路整備の実施を求める必要があると考えている。
今後もし引き続き、鹿児島県と連携しながら、早期に事業実施がはかれるよう要望していきたい、と考えている。

澤 佳男 議員

加計呂麻バスの不定期・デマンド運行

澤 わたしには、不定期運行・デマンド運行を、なんのためにやっているのかよくわからない。なんで、そういうことをやりだしたのか。前からお話ししているよ



うに、燃料費の節約なんて、一日に、わずか六百余十円、一日に六百数十円節約してひねり出すために、加計呂麻島の多くの住民に不安な思いをさせ、不便な思いをさせている。

公共交通というのは、住民の利便をはかるために運行するはずなのに、それなのに不規則な運行だ、デマンド運行だ

ってなるのか。

そんなことを考え出して、いったいだれが得をするのか。

なんでこれが続いているのか、わたしには理解できない。

小・中学校の郷土教育

澤 最近、20歳代の若者

と話したときに、昇曙夢の名前を出すと、「その人は、何をした人ですか、はじめて聞きました」といわれて、おどろいた。

ついでに、島尾敏雄の名前を出してみたが、やはり知らないといわれた。小中学校の授業の中で、この2人の名前は出てこないのか。

教育長 総合的な学習の

時間でフィールドワークなどもあるし、郷土の先人の文学者であるとかそういうことにもふれるので、個別の学校でやっていることについては調べないといけないが、一般的に先人の文学者であったり、歴史的なことを授業で行うので、学校教育の中ではそういうこと

にふれていると私は認識している。

社会教育課長

小学生が社会見学で図書館・郷土館を利用しているが、そこには島尾敏雄コーナーがあるし、昇曙夢などの郷土の偉人の展示も行われているので、そこあたりで子どもたちは郷土教育にもふれていることだろうと思っている。

澤 授業で使用する副読本などに郷土の人物を紹介していると思うが、その中に出てこないのか。

教委総務課長

「わたしたちの瀬戸内町」という本が、小学校3年生の社会科の学習の手助けとして作成されている。その中に、日本復帰運動で活

躍した郷土の関係者として昇曙夢先生の記事が出ているので、そこで子どもたちも学習していると思う。

澤 4月に加計呂麻島の芝に行ったときに、昇曙夢の胸像を見た。

ところが胸像に至る通路には、大きなブリキ片などが散乱して歩いて歩くこともできない状態であった。

胸像のそばに設置してある2台のベンチはひっくり返ったままであり、その敷地内は雑草が伸び放題であった。

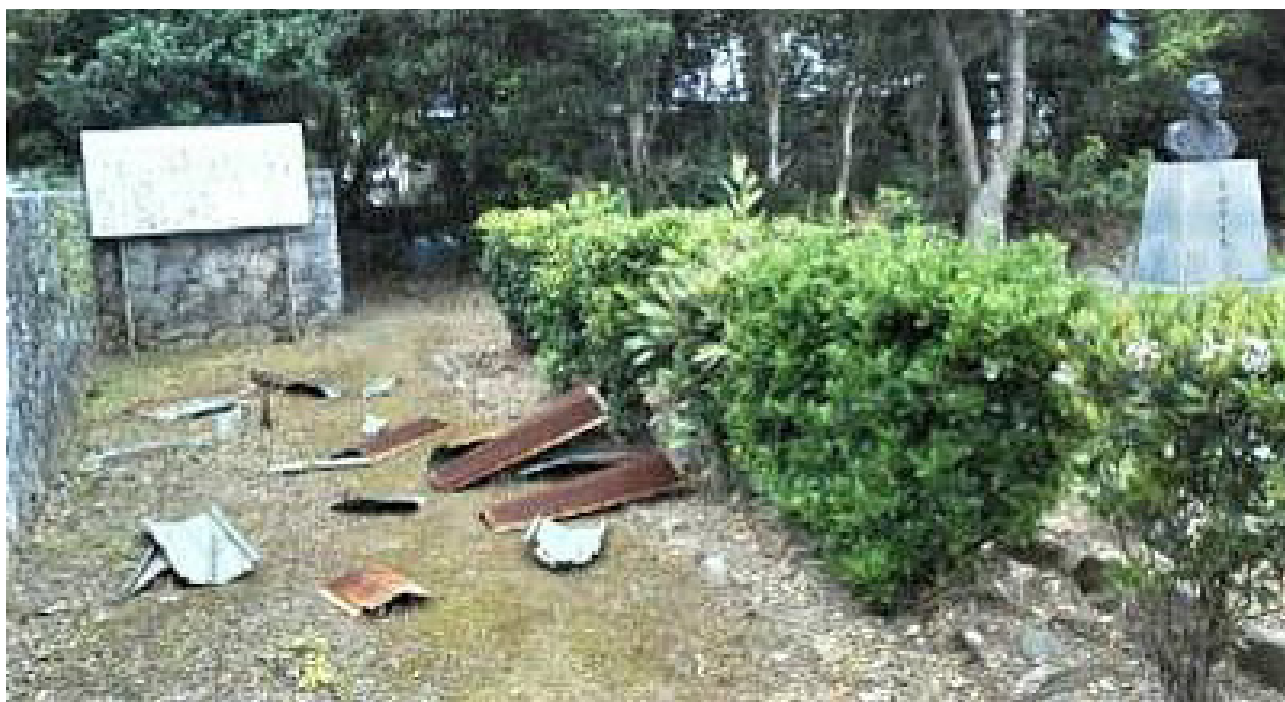
昇曙夢は、瀬戸内町の名誉町民である。奄美群島から出た人物の中で、出世頭という意味では、現在の最高裁判所長官にあたる、大審院長を務め

た泉二新熊（もとじしんぐま）がいるが、昇曙夢はそれに勝るとも劣らない人物である。明治末から大正、昭和初期にかけての日本の近代文学界に大きな影響を与えたロシヤ文学者であり、瀬戸内町の、加計呂麻島の誇りとすべき人物である。

そのふるさとである、ゆかりの地に立っている胸像が、荒れ放題で放置されている光景を見て、信じられない気持ちになった。

あの胸像は、昭和50年に、東京奄美会が建立したもので、奄美群島から東京に出て、弁護士など最先端で活躍している人たちが、昇曙夢の胸像をふるさとに立てようという

ことで寄付を募って芝に胸像を建立した。



昇曙夢の胸像がある公園（芝）



向野 忍 議員

そのときに、芝の老人クラブとのあいだで胸像周辺を維持管理する約束があったと聞いている。しかしそれは、50年近く前の話であって、いまは過疎化、高齢化がはげしく、老人クラブで維持管理することは不可能になっている。

町で管理すべきである
と考えるが、いかがか。

町長 令和2年度に、胸像の近くにトイレとシャワー施設を設置するの
で、その管理も含めて集落と話をして、可能な限り集落にある公園等は集落にしていたいただきたい
思っているの、そのことも含めて集落側と話し
をしてみたい。

町長 加計呂麻島、請島
と乗船直前までお願いを
したが9割の方々が乗船
した。現段階では強制力
はなくお願いに過ぎない
ことが課題である。

今回の対策等について
検証し、次の波に即応で
きる態勢づくりに努めた
い。

新型コロナウイルス対策

向野 大島本島5市町村
と連携した水際対策及び
加計呂麻、請、与路島へ
の水際対策の効果と課題
及び解決策について伺
いたい。

向野 「条例」を制定し
てはどうか。感染予防対
策、水際対策や医療体制
の整備等の「町としての
責務」、「町民や事業者
に求める行動」、さらに
「町が実施する対策に協
力する」等の「観光客等
来訪者に求める行動」を
明記し、第2波に向けて
の対策としたらどうか。

町長 条例制定の必要性

やどれだけの強制力があるのか等を検証し検討したい。

指導者用のパソコンを整備する事業を実施する。

向野 他市町村に先駆けた本町独自の緊急支援金

向野 経済活動の再開、回復に向けた商工会、観光協会、漁協、JA、その他民間団体との協議会

給付により商工業者は大いに助かっており、町の早急な対応に感謝している。

等の設立について見解を伺いたい。

今後さらなる地域経済の立て直しのため、地方創生臨時交付金等を活用した支援対策について伺いたい。

町長 6月中旬に「まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会」の開催を予定している。

町長 ①全町民へ一人当たり5千円のクーポン券を発行する「瀬戸内町ささえ愛クーポン券事業」

今後の経済活動の再開等についても協議したい。新たな協議会等の設立については考えていない。

②医療従事者への感染防護具購入③医療従事者への特殊勤務手当支給事業④離島遠隔医療支援対策事業、教育関係として⑤

向野 石垣市は観光客の受入を再開するに当たり宿泊事業者等と「感染防止策の協定書」を締結している。

締結の際には各宿泊施設において独自の感染予防ガイドラインを定めている。参考にしてはどうか。住民も安心して観光客等を受け入れることができるのでは。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた畜産業の生産基盤の立て直しと持続化対策

向野 コロナウイルス感染症拡大の影響を受けインバウンド需要や外食産業での和牛消費が冷え込み、5月の大島地区子牛セリ市結果は、6市場平均価格51万3千6円（対3月比11万5千548円安、昨年5月比20万5千367円安）となり子牛価格の下落が止まらない



子牛のセリ風景（須手・肉用牛集出荷施設）

声



泉 正枝 (58)

雪の中で育ったが、雪は好きになれなかった。子どものころから、雪かきに追われる親の難儀を見ながら成長した。屋根がこわれるから雪おろしせざるを得ないし、それが高齢の世帯になれば、さらにたいへんな重荷になる。

子どものころから、雪のない世界にアコがれていた。高校を卒業して雪国を離れるときには、涙がでるほどうれしかった。縁があって奄美の人と結婚して、瀬戸内町にやってきた。光あふれる町に生きて30年あまり、これからも住みつづけたいとねがっている。いまは、奄美せとうち観光協会につとめて、緊張のなかで日々観光客に接している。行政も議会も、町民を第一に考えてほしい。そして公正公平な政治をめざしてほしい。

状況にある。

需要が戻るにはまだまだ時間がかかる予想であり生産農家にとっては死活問題である。支援策等は考えられないか。

町長 新たに創設された

生産基盤拡大加速化事業

要望として地方創生臨時

で、生産者が繁殖雌牛を

交付金の拡充を地元選出

増頭する場合に増頭実績

の国会議員に要望する。

にに応じて奨励金を交付す

町単独の支援が厳しい

る。

中で、国の交付金を拡充

また、市町村会とし

していただき、農林水産

業の支援ができるよう働

きかけていきたい。

感染症対策に関する緊急

編集後記

新型コロナウイルスは、いったん収束の気配を見せたが、夏を迎えてふたたび全国的に感染拡大の様相を呈している。

夏休みに入ってからからの4連休をみていると、明らかにわが町にも観光客がふえている。

加計呂麻島にわたる「フェリーかけろま」にはレンタカーが数多く搭載されていて、加計呂麻島をめぐる道路では、レンタカーの走行が目についた。

コロナの問題がなければ、歓迎したくなる光景であるかもしれないが、けして町の人たちが手放して喜んでいいるわけではないのは、不幸なことである。



乗船客に消毒剤を噴霧する

議会報編集委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 澤佳男 |
| 副委員長 | 元井直志 |
| 委員 | 岡田弘通 |
| 委員 | 向野忍 |
| 委員 | 池田啓一 |
| 委員 | 柳谷昌臣 |
| 委員 | 鼻克己 |